

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和8年6月24日(水) 午後4時00分～午後4時12分
場所 小田原市役所 7階 大会議室
- 2 出席者氏名
1番委員 柳 下 正 祐 (教育長)
2番委員 益 田 麻衣子 (教育長職務代理者)
3番委員 秋 元 美 里
5番委員 松葉口 玲 子
- 3 説明員等氏名
教 育 部 長 村 田 智 俊
文 化 部 長 和 田 芳 廣
教育部副部長 諏訪部 澄 佳
教育部副部長(保健給食課長事務取扱) 吉 澤 太 郎
文化部副部長 早 野 智 洋
教育総務課長 大 木 健 一
教育指導課長 松 澤 俊 介
教育相談担当課長 橋 本 賢 治
生涯学習課長 遠 藤 倫 子
教育指導課指導主事 石 井 悠 季
その他関係職員
(事務局)
教育総務課係長 鈴 木 律 子
- 4 議事
日程第1
議案第18号 小田原市就学支援委員会委員の委嘱について (教育指導課)
- 5 報告事項
(1) 小田原市社会教育委員会議活動報告書について (生涯学習課)
- 6 議事等の概要
(1) 柳下教育長開会宣言
(2) 5月定例会議事録の承認
(3) 議事録署名委員の決定…3番 秋元委員、5番 松葉口委員に決定

(4) 日程第1 議案第18号 小田原市就学支援委員会委員の委嘱について (教育指導課)

○教育相談担当課長 それでは私から御説明申し上げます。

小田原市就学支援委員会は、小田原市附属機関設置条例に基づき設置されているものでございます。

この度、小田原市就学支援委員会規則第3条第1項の規定に基づき、医師、学識経験者、管轄の児童相談所職員、特別支援学校教員、特別支援学級設置小学校長、中学校長、特別支援学級の担任並びに教育委員会が必要と認める者の中から選考いたしましたところ、別紙資料の名簿にございます25名の方々が、小田原市就学支援委員会委員として適任と思われますので、今年度委嘱、又は任命いたしたく提案するものです。

なお、25名のうち9名の方は、小田原医師会などの関係団体からご推薦いただいております。

また、任期につきましては、令和8年7月1日から令和9年6月30日までの1年間となります。

以上で、説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決確定

(5) 報告事項(1) 小田原市社会教育委員会議活動報告書について

(生涯学習課)

○生涯学習課長 それでは私から御説明申し上げます。

小田原市社会教育委員会議では、近年、2年間の任期ごとにテーマを設定し、協議を重ねたうえで報告書として協議内容をまとめております。

前回任期である令和4年8月からの2年間では、「新しい生活様式を踏まえた社会教育・生涯学習のあり方とその可能性」というテーマで協議を行い、その結果を教育委員会定例会でも報告いたしました。協議の中では、コロナ禍を経て再開した活動に加え、デジタル技術を活用した個々による学びの機会は増えつつも、一方で、人と人とのつながりが希薄になっていくことの懸念なども指摘されました。

その指摘を踏まえ、今期の令和6年8月からの2年間では、今一度、全ての人に生涯にわたる学びとの出会いの機会をどのように提供するのか、出会うことのできた学びを継続していくにはどのようにしたらよいのか、学ぶことを通じて知り合った仲間や、学びを深めることで出会う人とのつながりを支援していくにはどのようにしたらよいのか等、生涯学習活動を支援するに当たっての諸課題について協議するべきと考え、「生涯にわたる学びとの出会いと学びの継続、つながりの支援について」～生涯学習の新たな出会いのつなぎ直し～をテーマに設定し、各委員それぞれの立場から自由かつ多様なご意見が寄せられました。

本報告書は、各事業の現状と課題に対する各委員の意見やアイデア等協議経過と、協議を受けての事業展開案を丁寧かつシンプルな形式で示し、委員からの提言としてまとめたものでございます。

では、活動報告書の概要について御説明いたします。

報告書の1ページから3ページまでは、協議の進め方を中心に掲載しております。

協議の視点として「学びとの『出会い』の創出」「学びの『継続』の支援」「学びを通しての『つながり』の支援」「学んだ成果を『活かす』支援」の4つのテーマを抽出・設定し、協議対象は、報告書3ページに一覧表のとおり、生涯学習課が実施している「生涯学習センター事業」といたしました。

なお、地域資源を活用した長期的・体系的な学びの場である「おだわら市民学校」については、令和7年度に策定の第7次小田原市総合計画の中でこれまでとは位置付けが変更となるため、協議対象から除外することといたしました。

5ページから16ページまでは、「各事業の現状と課題及び協議経過」として、「生涯学習センター事業ごとの現状と課題の提示」、各委員から頂いた意見やアイデアなどを、先ほどの4つのテーマごとに分類して提示しており、ポイントと言える部分を「太字」にして強調しております。

なお、16ページには、複数の事業に共通する意見を掲載しております。

17ページから19ページまでは、まとめの章として、「協議を受けての事業展開」について掲載しております。

今回の協議テーマである「生涯学習の新たな出会いのつなぎ直し」を実現するための今後の事業展開について、生涯学習センターの3つの事業ごとに事業案を提案し、それぞれに、今回の協議で踏まえた4つの視点ポイントを明記いたしました。

以上、今回の活動報告書は、今後の生涯学習センター事業を展開していく上で、幅広い世代の人達が主体的に学び、社会に関わる機会を生み出すことにつながるヒントやアイデアなどをまとめたものとなっており、生涯学習センター事業だけにとどまらず、本市で展開している社会教育に関わる施策において、今後の施策推進のために、参考になるものであると考

えております。

社会教育委員会議の事務局を務める生涯学習課では、今後、この活動報告書を社会教育・生涯学習の場で活用するほか、教育振興基本計画に位置付けられた各施策と関連があることから、関係各課へ配布するとともに、同基本計画の一層の推進を図るための資料として活用していただけるよう教育委員会教育総務課へ提供する予定であります。

以上で説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見等)

○益田委員 活動報告書を各所管に配架するということでしたが、このままだと読み込むことが大変ですので、教育大綱のリーフレットのような読みやすい概略版をカラーで作成すれば、一般のサークル等で活用することができると思うので、もっと市民に分かりやすい形を考えていただけるといいなと思いました。

○生涯学習課長 ありがとうございます。ページ数も多くなってしまうておりますが、せっかく作ったものですので、皆さんに見えていただけるように工夫したいと思います。

(その他質疑・意見等なし)

7 柳下教育長閉会宣言

令和8年7月29日

柳下教育長

署名委員（秋元委員）

署名委員（松葉口委員）